

管内月間火山概況（平成 27 年 5 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	吾妻山
	火口周辺危険	蔵王山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、岩木山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。
予報警報事項に変更はありません。

岩木山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しました。火山性地震が一時的に増加することもあります。その他の火山活動に変化はなく、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

めだけ
女岳では、2009年から地熱域の拡大が認められています。
地震活動は低調で、地殻変動及び噴気活動にも大きな変化はみられませんが、地熱活動が続いていますので今後の火山活動の推移に注意が必要です。

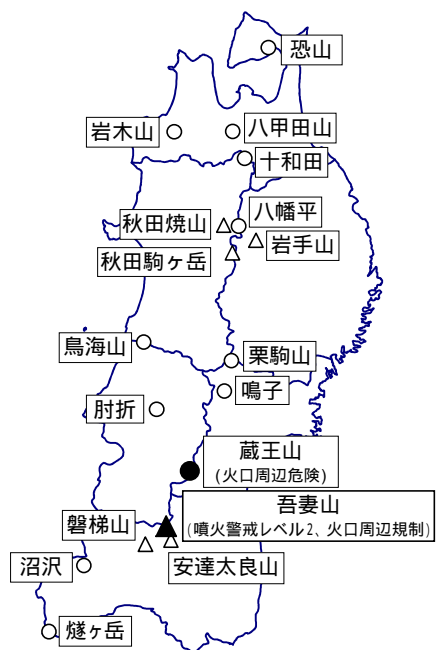
鳥海山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

東北地方の活火山



凡例

噴火警戒レベル対象火山

○：噴火警報発表中

△：噴火予報発表中

噴火警戒レベル対象外火山

○：噴火警報発表中

△：噴火予報発表中

蔵王山 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

8日から11日にかけて火山性地震は多い状態となりました。12日以降、地震回数は増減を繰り返しながら少ない状態で経過しました。

17日に火山性微動が発生しました。継続時間は短く、規模の小さなものでした。

想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね 1.2km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

吾妻山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震が3日以降増加し、6日には日回数が110回と多い状態となりました。

また、6日に火山性微動が発生しました。微動発生時には傾斜計1)で西側（火口方向側）が上がる変動がみられました。傾斜計では2014年4月以降、緩やかな西側上がり傾向が継続しています。

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いています。

大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺（火口から概ね500mの範囲）では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

次回の管内月間火山概況（平成27年6月分）は平成27年7月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び青森県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。